

平成 25 年 9 月 10 日

【照会先】 保険局調査課

課長 秋田 倫秀 (内線 : 3291)

数理企画官 鎌田 真隆 (内線 : 3293)

担当係 医療機関医療費係 (内線 : 3298)

電話 : 03-5253-1111 (代表)

03-3595-2579 (直通)

報道関係者 各位

## 調剤医療費（電算処理分）の動向 ～ 平成 24 年度版 ～

厚生労働省では、毎年、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を把握するために、電算処理分のレセプトを集計し、「調剤医療費(電算処理分)の動向」として公表しています。このたび、平成 24 年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

### 【調査結果のポイント】

- 平成 24 年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は 6 兆 5,902 億円（伸び率（対前年度同期比、以下同様。）1.2%）で、処方せん 1 枚当たり調剤医療費は 8,400 円（伸び率▲0.3%）であった。  
その内訳は、技術料が 1 兆 7,020 億円（伸び率+3.6%）、薬剤料が 4 兆 8,771 億円（+0.4%）、特定保険医療材料料が 112 億円（+1.0%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が 4,958 億円（+18.0%）であった。【表 1、表 2-1、表 2-2】
- 処方せん 1 枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75 歳以上では 10,427 円と、0 歳以上 5 歳未満の 3,200 円の約 3.26 倍であった。【表 3】
- 内服薬の処方せん 1 枚当たり薬剤料の伸び率は▲1.9%となっており、この伸び率を「処方せん 1 枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1 種類当たり投薬日数の伸び率」、「1 種類 1 日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々▲0.2%、+3.1%、▲4.7%であった。【表 4】
- 平成 24 年度後発医薬品割合は数量ベースで平均 28.7%（伸び幅+5.2%、最高値は 2 月の 29.5%）、薬剤料ベースで 10.2%（+1.5%、3 月の 10.8%）、後発医薬品調剤率は 52.6%（+4.1%、1 月の 54.9%）であった。【表 10】

## 調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成24年度版～

### 1. 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成24年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は6兆5,902億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同様)+1.2%)で、処方せん1枚当たり調剤医療費は8,400円(▲0.3%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方せん枚数ベースとも99%に達しており、処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%未満と小さい。

表1 調剤医療費総額、処方せん枚数及び処方せん1枚当たり調剤医療費

		実数							対前年度比(%)						
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
全数	調剤医療費(億円)	47,468	51,673	54,402	58,695	60,822	65,601	66,431	8.9	5.3	7.9	3.6	7.9	1.3	
	処方せん枚数(万枚)	68,955	70,739	72,008	73,056	76,169	77,851	78,986	2.6	1.8	1.5	4.3	2.2	1.5	
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,884	7,305	7,555	8,034	7,985	8,426	8,410	6.1	3.4	6.3	▲0.6	5.5	▲0.2	
電算処理分	調剤医療費(億円)	33,305	41,803	49,630	58,124	60,389	65,133	65,902	25.5	18.7	17.1	3.9	7.9	1.2	
	電算化率(%)	70.2	80.9	91.2	99.0	99.3	99.3	99.2	—	—	—	—	—	—	
	処方せん枚数(万枚)	48,106	57,089	65,638	72,345	75,636	77,289	78,452	18.7	15.0	10.2	4.5	2.2	1.5	
	電算化率(%)	69.8	80.7	91.2	99.0	99.3	99.3	99.3	—	—	—	—	—	—	
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	8,427	8,400	5.8	3.3	6.3	▲0.6	5.5	▲0.3	
	電算処理分/全数	1.006	1.002	1.001	1.000	1.000	1.000	0.999	—	—	—	—	—	—	

## 2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が1兆7,020億円(伸び率+3.6%)、薬剤料が4兆8,771億円(+0.4%)で、特定保険医療材料料が112億円(+1.0%)であった。

処方せん1枚当たり調剤医療費全体は8,400円(伸び率▲0.3%)で、その内訳は、技術料が2,169円(+2.0%)、薬剤料が6,217円(▲1.1%)で、特定保険医療材料料が14円(+1.8%)であった。

構成割合は技術料が25.8%、薬剤料が74.0%、特定保険医療材料が0.2%となっている。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
調剤医療費(億円)	-	-	-	58,124	60,389	65,133	65,902	-	-	-	3.9	7.9	1.2	
技術料(億円)	-	-	-	14,540	15,911	16,435	17,020	-	-	-	9.4	3.3	3.6	
薬剤料(億円)	-	-	-	43,487	44,376	48,590	48,771	-	-	-	2.0	9.5	0.4	
内服薬薬剤料(億円)(再掲)	-	-	-	36,841	37,372	40,881	40,729	-	-	-	1.4	9.4	▲0.4	
後発医薬品薬剤料(億円)(再掲)	-	-	-	3,002	3,619	4,203	4,958	-	-	-	20.5	16.1	18.0	
特定保険医療材料料(億円)	-	-	-	96	102	108	112	-	-	-	5.9	6.1	1.0	

注) 調剤医療費及び処方せん枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

表2-2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
調剤医療費(円)	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	8,427	8,400	5.8	3.3	6.3	▲0.6	5.5	▲0.3	
技術料(円)	1,901	1,924	1,984	2,010	2,104	2,126	2,169	1.2	3.1	1.3	4.7	1.1	2.0	
構成割合(%)	27.5	26.3	26.2	25.0	26.3	25.2	25.8	-	-	-	-	-	-	
薬剤料(円)	5,011	5,387	5,565	6,011	5,867	6,287	6,217	7.5	3.3	8.0	▲2.4	7.2	▲1.1	
構成割合(%)	72.4	73.6	73.6	74.8	73.5	74.6	74.0	-	-	-	-	-	-	
内服薬薬剤料(円)(再掲)	4,245	4,573	4,713	5,092	4,941	5,289	5,192	7.7	3.0	8.1	▲3.0	7.0	▲1.8	
後発医薬品薬剤料(円)(再掲)	270	304	353	415	478	544	632	12.4	16.1	17.5	15.3	13.7	16.2	
特定保険医療材料料(円)	11	12	12	13	13	14	14	8.2	3.7	9.8	1.3	3.8	1.8	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-	

### 3. 年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では10,427円と、0歳以上5歳未満の3,200円の約3.26倍となっている。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	
総数	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	8,427	8,400	5.8	3.3	6.3	▲0.6	5.5	▲0.3	
0歳以上5歳未満	2,865	2,929	3,005	3,129	3,149	3,206	3,200	2.2	2.6	4.1	0.7	1.8	▲0.2	
5歳以上10歳未満	3,750	3,875	3,993	4,278	4,280	4,451	4,445	3.3	3.1	7.1	0.0	4.0	▲0.2	
10歳以上15歳未満	4,359	4,545	4,672	4,929	5,014	5,225	5,289	4.3	2.8	5.5	1.7	4.2	1.2	
15歳以上20歳未満	4,492	4,694	4,902	5,064	5,225	5,512	5,526	4.5	4.4	3.3	3.2	5.5	0.3	
20歳以上25歳未満	4,604	4,828	5,042	5,221	5,308	5,585	5,600	4.9	4.4	3.6	1.7	5.2	0.3	
25歳以上30歳未満	4,856	5,103	5,316	5,540	5,604	5,909	5,940	5.1	4.2	4.2	1.1	5.4	0.5	
30歳以上35歳未満	5,167	5,430	5,667	5,941	5,975	6,290	6,323	5.1	4.4	4.8	0.6	5.3	0.5	
35歳以上40歳未満	5,643	5,957	6,231	6,572	6,613	6,939	6,966	5.6	4.6	5.5	0.6	4.9	0.4	
40歳以上45歳未満	6,195	6,535	6,828	7,241	7,295	7,719	7,761	5.5	4.5	6.1	0.7	5.8	0.5	
45歳以上50歳未満	6,767	7,120	7,376	7,796	7,794	8,231	8,261	5.2	3.6	5.7	▲0.0	5.6	0.4	
50歳以上55歳未満	7,275	7,635	7,881	8,320	8,272	8,704	8,668	5.0	3.2	5.6	▲0.6	5.2	▲0.4	
55歳以上60歳未満	7,751	8,133	8,345	8,809	8,720	9,180	9,119	4.9	2.6	5.6	▲1.0	5.3	▲0.7	
60歳以上65歳未満	7,998	8,423	8,665	9,151	9,056	9,537	9,452	5.3	2.9	5.6	▲1.0	5.3	▲0.9	
65歳以上70歳未満	8,192	8,600	8,817	9,326	9,254	9,767	9,708	5.0	2.5	5.8	▲0.8	5.5	▲0.6	
70歳以上75歳未満	8,446	8,875	9,111	9,611	9,495	9,981	9,870	5.1	2.7	5.5	▲1.2	5.1	▲1.1	
75歳以上	8,751	9,220	9,491	10,041	10,008	10,541	10,427	5.4	2.9	5.8	▲0.3	5.8	▲1.1	

#### 4. 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料5,180円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.90、21.1日、85円となっている。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率▲1.9%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々▲0.2%、+3.1%、▲4.7%となっている。

表4 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料(円)	4,243	4,571	4,706	5,087	4,936	5,283	5,180	7.7	3.0	8.1	▲3.0	7.0	▲1.9	
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.80	2.83	2.85	2.87	2.90	2.90	2.90	1.1	0.8	0.4	1.2	0.0	▲0.2	
1種類当たり投薬日数(日)	17.3	17.9	18.8	19.7	19.9	20.5	21.1	3.5	5.3	4.5	0.9	3.0	3.1	
1種類1日当たり薬剤料(円)	88	90	88	90	86	89	85	2.9	▲3.0	3.0	▲5.0	3.9	▲4.7	

## 5-1. 薬効分類別の状況(1)(薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1兆0,842億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が6,394億円となっている。伸び率は、漢方製剤が+7.7%と最も高く、抗生物質製剤が▲9.6%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が1,151億円と最も高く、次いで消化器官用薬が874億円となっている。伸び率は、中枢神経用薬が+86.4%と最も高く、ビタミン剤が▲10.2%と最も低い。

表5-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)						対前年度比(%)			
	後発医薬品(億円)(再掲)						後発医薬品(再掲)			
	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 23年度	平成 24年度
<b>内服薬 総数</b>	37,334	40,830	40,642	3,134	3,690	4,421	9.4	▲ 0.5	17.7	19.8
11 中枢神経系用薬	5,183	6,121	6,394	177	229	427	18.1	4.5	29.4	86.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	647	681	652	40	46	72	5.3	▲ 4.2	15.0	56.5
114 解熱鎮痛消炎剤	670	752	778	48	55	65	12.2	3.4	14.6	18.0
116 抗パーキンソン剤	500	543	555	15	16	17	8.6	2.3	6.7	5.2
117 精神神経用剤	1,876	2,129	2,201	52	64	104	13.5	3.4	23.1	62.8
119 その他中枢神経系用薬	1,205	1,664	1,779	2	26	145	38.1	6.9	1200.0	458.4
21 循環器官用薬	10,643	11,367	10,842	796	929	1,151	6.8	▲ 4.6	16.7	23.8
212 不整脈用剤	583	601	554	42	52	61	3.1	▲ 7.9	23.8	16.5
214 血圧降下剤	4,910	5,318	5,133	99	113	154	8.3	▲ 3.5	14.1	36.2
217 血管拡張剤	1,785	1,750	1,532	375	436	474	▲ 2.0	▲ 12.4	16.3	8.8
218 高脂血症用剤	2,569	2,768	2,628	178	217	353	7.8	▲ 5.1	21.9	62.8
22 呼吸器官用薬	524	543	504	67	76	93	3.5	▲ 7.1	13.4	22.5
23 消化器官用薬	3,714	3,999	3,801	571	734	874	7.7	▲ 4.9	28.5	19.1
232 消化性潰瘍用剤	2,724	2,929	2,712	368	506	617	7.5	▲ 7.4	37.5	21.9
239 その他の消化器官用薬	492	546	551	12	14	21	11.1	1.0	16.7	52.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,075	1,153	1,156	65	74	82	7.3	0.2	13.8	11.5
31 ビタミン剤	743	771	768	346	356	320	3.7	▲ 0.4	2.9	▲ 10.2
32 滋養強壮薬	497	505	488	17	20	21	1.5	▲ 3.3	17.6	6.5
325 蛋白アミノ酸製剤	437	443	429	10	11	12	1.3	▲ 3.1	10.0	5.9
33 血液・体液用薬	2,335	2,644	2,746	260	301	341	13.2	3.9	15.8	13.2
39 その他の代謝性医薬品	4,026	4,633	4,946	321	377	429	15.1	6.8	17.4	13.7
396 糖尿病用剤	1,586	2,014	2,250	148	181	204	27.0	11.7	22.3	12.7
399 他に分類されない代謝性医薬品	1,861	2,060	2,124	83	102	129	10.7	3.1	22.9	26.1
42 腫瘍用薬	1,927	2,043	2,069	112	140	157	6.0	1.3	25.0	12.0
422 代謝拮抗剤	522	499	479	0	0	0	▲ 4.4	▲ 4.0	-	-
429 その他の腫瘍用薬	1,344	1,479	1,525	110	138	155	10.0	3.1	25.5	12.2
44 アレルギー用薬	2,692	2,878	2,797	181	210	266	6.9	▲ 2.8	16.0	26.7
52 漢方製剤	809	862	928	-	-	-	6.5	7.7	-	-
61 抗生物質製剤	1,063	1,083	979	83	97	118	1.9	▲ 9.6	16.9	22.1
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	492	489	448	25	30	42	▲ 0.6	▲ 8.4	20.0	41.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	489	504	439	52	60	68	3.0	▲ 12.8	15.4	14.0
62 化学療法剤	1,373	1,446	1,415	101	108	99	5.3	▲ 2.1	6.9	▲ 8.0
624 合成抗菌剤	391	438	445	28	32	28	11.9	1.6	14.3	▲ 13.7
625 抗ウイルス剤	690	730	722	14	14	10	5.8	▲ 1.0	0.0	▲ 25.0

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 調剤医療費及び処方せん枚数(受付回数)の電算化率が99.0%を超えた平成21年度以降を公表の対象範囲としている。

注3) 「-」は0を意味する。

## 5-2. 薬効分類別の状況(2)(処方せん1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,382円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が815円となっている。伸び率は、漢方製剤が+6.1%と最も高く、抗生物質製剤が▲10.9%と最も低い。

表5-2 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
内服薬 総数	4,243	4,571	4,706	5,087	4,936	5,283	5,180	7.7	3.0	8.1	▲ 3.0	7.0	▲ 1.9	
11 中枢神経系用薬	500	555	596	658	685	792	815	11.1	7.2	10.5	▲ 4.1	15.6	▲ 2.9	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	74	78	84	89	85	88	83	5.2	7.3	6.6	▲ 4.1	3.1	▲ 5.6	
114 解熱鎮痛消炎剤	76	81	84	91	89	97	99	6.5	3.9	8.4	▲ 3.1	9.8	1.9	
116 抗パーキンソン剤	60	62	62	66	66	70	71	2.7	1.3	5.4	0.6	6.2	0.8	
117 精神神経用剤	183	209	220	240	248	276	281	14.3	5.1	9.2	3.3	11.1	1.8	
119 その他中枢神経系用薬	78	95	113	136	159	215	227	21.6	19.0	20.0	17.4	35.2	5.3	
21 循環器官用薬	1,260	1,360	1,371	1,497	1,407	1,471	1,382	7.9	0.9	9.2	▲ 6.0	4.5	▲ 6.0	
212 不整脈用剤	85	87	84	86	77	78	71	2.3	▲ 4.0	2.2	▲10.1	0.9	▲ 9.2	
214 血圧降下剤	546	605	614	677	649	688	654	10.9	1.6	10.3	▲ 4.2	6.0	▲ 4.9	
217 血管拡張剤	275	286	275	282	236	226	195	4.0	▲ 3.8	2.6	▲16.2	▲ 4.1	▲13.8	
218 高脂血症用剤	272	294	309	352	340	358	335	8.2	5.0	13.9	▲ 3.5	5.4	▲ 6.5	
22 呼吸器官用薬	82	78	74	73	69	70	64	▲ 4.3	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 4.9	1.3	▲ 8.4	
23 消化器官用薬	457	487	492	530	491	517	485	6.8	0.9	7.7	▲ 7.3	5.4	▲ 6.4	
232 消化性潰瘍用剤	341	364	366	395	360	379	346	7.0	0.5	7.9	▲ 8.8	5.2	▲ 8.8	
239 その他の消化器官用薬	54	58	60	65	65	71	70	7.1	2.7	9.9	▲ 0.6	8.7	▲ 0.5	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	111	125	134	148	142	149	147	13.0	6.7	10.6	▲ 3.8	5.0	▲ 1.3	
31 ビタミン剤	108	111	106	109	98	100	98	2.5	▲ 3.8	2.3	▲ 9.7	1.4	▲ 1.8	
32 滋養強壮薬	58	62	64	69	66	65	62	7.0	2.9	7.7	▲ 4.3	▲ 0.7	▲ 4.7	
325 蛋白アミノ酸製剤	50	54	56	60	58	57	55	7.5	3.3	8.3	▲ 4.1	▲ 0.9	▲ 4.6	
33 血液・体液用薬	229	260	281	316	309	342	350	13.6	8.3	12.2	▲ 2.2	10.8	2.3	
39 その他の代謝性医薬品	420	471	490	537	532	599	630	12.1	4.2	9.5	▲ 0.9	12.6	5.2	
396 糖尿病用剤	158	179	187	205	210	261	287	13.0	4.9	9.5	2.2	24.3	10.1	
399 他に分類されない代謝性医薬品	180	207	221	247	246	266	271	14.5	6.9	12.0	▲ 0.5	8.3	1.6	
42 腫瘍用薬	215	233	243	260	255	264	264	8.3	4.5	7.0	▲ 2.1	3.7	▲ 0.2	
422 代謝拮抗剤	78	79	76	74	69	65	61	1.2	▲ 3.7	▲ 2.8	▲ 7.1	▲ 6.5	▲ 5.3	
429 その他の腫瘍用薬	131	146	159	178	178	191	194	11.5	8.6	11.7	0.1	7.7	1.6	
44 アレルギー用薬	300	324	341	353	356	372	357	8.1	5.2	3.5	0.9	4.6	▲ 4.3	
52 漢方製剤	86	93	98	106	107	111	118	8.1	5.4	8.1	0.6	4.3	6.1	
61 抗生物質製剤	161	157	149	146	141	140	125	▲ 2.5	▲ 5.3	▲ 2.2	▲ 3.4	▲ 0.3	▲10.9	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	79	77	73	68	65	63	57	▲ 2.8	▲ 5.3	▲ 6.3	▲ 4.5	▲ 2.8	▲ 9.8	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	73	70	66	67	65	65	56	▲ 3.2	▲ 6.4	1.5	▲ 3.2	0.8	▲14.1	
62 化学療法剤	176	173	182	195	181	187	180	▲ 1.6	5.2	7.0	▲ 6.9	3.1	▲ 3.6	
624 合成抗菌剤	52	54	52	52	52	57	57	4.3	▲ 3.3	▲ 0.8	0.1	9.5	0.0	
625 抗ウイルス剤	70	70	81	96	91	94	92	0.0	15.1	19.1	▲ 5.1	3.6	▲ 2.5	

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 6. 薬効分類別の状況(3)(処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.62と最も多く、次いで消化器官用薬が0.49となっている。伸び率は、漢方製剤が+8.2%で最も高く、ビタミン剤が▲4.7%で最も低い。

表6 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
内服薬 総数	2.80	2.83	2.85	2.87	2.90	2.88	2.90	1.1	0.8	0.4	1.2	▲ 0.8	0.6	
11 中枢神経系用薬	0.45	0.46	0.45	0.45	0.45	0.46	0.46	2.6	▲ 1.5	0.1	▲ 0.5	1.3	0.6	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13	3.2	▲ 3.5	0.4	▲ 2.1	▲ 0.5	▲ 1.8	
114 解熱鎮痛消炎剤	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 1.0	1.1	0.5	
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	1.0	▲ 2.7	▲ 0.7	▲ 3.6	▲ 1.0	▲ 2.0	
117 精神神経剤	0.12	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	4.3	▲ 0.4	1.1	▲ 1.6	▲ 0.2	▲ 1.8	
119 その他中枢神経系用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	16.6	14.6	13.2	23.7	54.5	22.6	
21 循環器官用薬	0.56	0.58	0.60	0.62	0.62	0.61	0.62	3.1	3.1	4.1	▲ 0.4	▲ 0.7	0.3	
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	▲ 0.1	▲ 0.5	0.6	▲ 1.3	1.8	1.2	
214 血圧降下剤	0.18	0.19	0.20	0.21	0.21	0.22	0.22	5.4	5.6	5.6	0.7	1.5	0.1	
217 血管拡張剤	0.16	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.15	0.7	0.4	1.3	▲ 3.3	▲ 4.5	▲ 2.5	
218 高脂血症用剤	0.09	0.10	0.11	0.12	0.12	0.12	0.13	7.0	7.8	9.2	3.8	2.6	2.7	
22 呼吸器官用薬	0.29	0.27	0.27	0.25	0.27	0.27	0.27	▲ 4.7	▲ 1.7	▲ 5.2	6.6	▲ 1.6	0.3	
23 消化器官用薬	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	0.48	0.49	0.3	▲ 1.1	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 1.5	1.6	
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.4	▲ 0.5	0.7	▲ 1.4	0.0	▲ 0.4	
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	1.0	▲ 3.1	0.2	0.8	▲ 1.3	4.3	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	4.0	4.6	5.1	0.3	1.1	3.0	
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	1.4	0.7	0.6	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 4.7	
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	1.8	0.5	2.1	▲ 0.7	▲ 2.0	▲ 0.9	
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	7.0	6.3	7.8	3.2	▲ 3.1	3.8	
33 血液・体液用薬	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	4.7	4.3	3.1	1.8	2.8	1.1	
39 その他の代謝性医薬品	0.19	0.20	0.21	0.21	0.22	0.21	0.22	5.1	3.3	4.0	3.5	▲ 4.0	2.3	
396 糖尿病用剤	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	0.10	0.10	7.1	6.1	6.6	8.7	3.4	4.9	
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	16.3	7.5	8.2	2.3	2.9	0.9	
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.4	0.2	1.0	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 1.7	
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲ 2.7	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 6.0	▲ 12.2	▲ 6.1	
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.6	3.4	4.8	2.0	2.6	0.4	
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.21	0.20	0.21	0.21	0.21	0.2	2.4	▲ 4.9	6.1	▲ 2.0	1.1	
52 漢方製剤	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	7.3	6.5	5.9	4.1	2.8	8.2	
61 抗生物質製剤	0.14	0.13	0.13	0.12	0.13	0.12	0.12	▲ 4.3	▲ 2.1	▲ 5.0	3.5	▲ 3.6	▲ 2.6	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07	▲ 4.0	▲ 2.9	▲ 7.1	2.4	▲ 4.3	▲ 2.9	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	▲ 4.2	▲ 0.2	▲ 1.4	5.1	▲ 0.1	▲ 6.3	
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 5.3	3.6	6.5	▲ 5.6	5.8	▲ 0.1	
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	1.6	▲ 2.5	▲ 2.6	9.2	6.2	6.4	
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲ 21.0	18.5	39.6	▲ 31.3	7.1	▲ 11.8	

注) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。



## 7. 薬効分類別の状況(4)(1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の37.5日であり、最も短いのは抗生物質製剤の6.1日である。伸び率は、その他の代謝性医薬品が3.6%で最も高く、呼吸器官用薬が+0.0%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)							対前年度比(%)						
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
内服薬 総数	17.3	17.9	18.8	19.7	19.9	20.6	21.1	3.5	5.3	4.5	0.9	3.9	2.2	
11 中枢神経系用薬	16.0	16.4	18.0	18.9	19.1	19.7	20.3	2.4	10.1	4.5	1.6	3.0	2.7	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	16.2	16.4	19.4	20.4	20.9	21.5	22.1	0.9	18.7	5.0	2.6	2.9	2.5	
114 解熱鎮痛消炎剤	11.6	12.1	12.7	13.3	13.5	13.8	14.3	3.9	4.9	4.7	1.7	2.1	3.5	
116 抗パーキンソン剤	21.7	21.8	23.2	23.8	24.4	24.9	25.4	0.5	6.0	3.0	2.5	1.8	1.9	
117 精神神経用剤	19.1	19.5	20.8	21.4	21.7	22.3	22.9	2.0	6.6	3.0	1.6	2.7	2.4	
119 その他中枢神経系用薬	21.6	22.1	23.0	23.4	22.2	21.0	23.0	2.4	4.1	1.7	▲ 5.3	▲ 5.4	9.9	
21 循環器官用薬	24.9	25.6	26.5	27.3	27.9	28.7	29.4	2.8	3.7	2.9	2.1	3.2	2.3	
212 不整脈用剤	25.7	26.4	27.3	28.1	28.6	29.1	30.1	2.7	3.7	2.7	2.0	1.8	3.2	
214 血圧降下剤	25.6	26.3	27.3	28.0	28.6	29.4	30.3	2.8	3.6	2.7	2.1	2.8	3.1	
217 血管拡張剤	25.1	25.8	26.7	27.5	28.1	28.7	29.5	2.8	3.6	2.8	2.3	2.3	2.7	
218 高脂血症用剤	26.1	26.8	27.9	28.8	29.4	30.3	31.2	2.7	4.0	3.3	2.2	2.9	3.1	
22 呼吸器官用薬	7.4	7.6	7.7	7.9	7.8	8.0	8.0	1.5	1.6	3.3	▲ 1.6	2.4	0.0	
23 消化器官用薬	17.5	18.1	19.0	19.8	20.0	20.9	21.1	3.0	5.3	4.2	1.1	4.3	0.8	
232 消化性潰瘍用剤	19.1	19.6	20.5	21.2	21.7	22.3	22.9	2.7	4.6	3.6	2.1	2.8	2.6	
239 その他の消化器官用薬	15.8	16.4	17.7	18.5	18.6	19.5	19.2	3.7	7.6	4.6	0.9	4.6	▲ 1.3	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	24.8	25.9	27.1	28.0	28.7	29.6	30.1	4.3	4.9	3.3	2.3	3.3	1.7	
31 ビタミン剤	20.9	21.5	22.3	23.0	23.6	24.2	24.9	2.7	4.0	3.2	2.4	2.7	2.9	
32 滋養強壮薬	21.3	21.8	22.5	23.1	23.5	24.1	24.4	2.2	3.4	2.6	1.4	2.9	0.9	
325 蛋白アミノ酸製剤	18.0	18.4	18.9	19.3	19.5	19.9	20.0	1.8	2.9	2.2	0.8	2.1	0.9	
33 血液・体液用薬	22.7	23.3	24.2	24.9	25.1	25.4	25.8	2.8	3.6	3.1	0.6	1.2	1.9	
39 その他の代謝性医薬品	20.6	20.8	21.2	21.7	21.9	23.9	24.8	1.3	1.8	2.5	0.5	9.5	3.6	
396 糖尿病用剤	26.6	27.4	28.4	29.0	28.3	30.1	31.1	3.1	3.6	2.1	▲ 2.5	6.4	3.4	
399 他に分類されない代謝性医薬品	20.1	17.6	15.5	14.7	14.7	14.7	14.6	▲ 12.2	▲ 11.8	▲ 5.1	0.0	▲ 0.3	▲ 0.8	
42 腫瘍用薬	29.9	31.3	32.5	33.5	34.4	36.5	37.5	4.4	4.0	3.2	2.6	6.0	2.8	
422 代謝拮抗剤	21.5	21.0	20.5	20.1	19.4	20.0	20.1	▲ 2.4	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 3.3	3.3	0.2	
429 その他の腫瘍用薬	37.8	40.3	42.2	43.4	44.5	45.9	47.0	6.6	4.7	3.0	2.4	3.1	2.4	
44 アレルギー用薬	11.9	12.3	13.0	13.7	14.0	14.6	15.1	4.1	5.6	5.2	2.3	4.1	3.5	
52 漢方製剤	16.5	16.9	17.7	18.4	18.8	19.3	19.7	2.7	4.5	4.1	2.0	2.5	2.3	
61 抗生物質製剤	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	6.0	6.1	2.2	2.1	1.4	0.8	3.3	1.0	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	4.5	4.6	1.1	1.3	0.6	1.3	1.3	1.2	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	6.7	6.9	7.1	7.1	7.1	7.2	7.5	3.5	2.5	0.9	▲ 0.3	0.8	4.0	
62 化学療法剤	8.8	9.1	9.5	9.3	9.5	9.3	9.5	3.6	4.1	▲ 2.1	2.5	▲ 2.3	2.2	
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.3	5.3	5.2	5.2	5.2	0.4	1.6	▲ 0.3	▲ 1.0	0.2	▲ 0.4	
625 抗ウイルス剤	6.5	7.6	7.8	7.4	9.0	9.1	10.1	18.0	2.5	▲ 6.2	22.8	0.3	11.5	

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 8. 薬効分類別の状況(5)(1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,259円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の30円である。

伸び率は、ビタミン剤が+0.0%で最も高く、抗生物質製剤が▲9.4%で最も低い。

表8 内服薬 薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)						
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	
<b>内服薬 総数</b>	88	90	88	90	86	89	85	2.9	▲ 3.0	3.0	▲ 5.0	3.9	▲ 4.7	
11 中枢神経系用薬	70	74	73	77	79	88	88	5.7	▲ 1.2	5.5	3.0	10.8	▲ 0.4	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	32	33	31	31	30	30	28	1.1	▲ 6.4	1.1	▲ 4.6	0.7	▲ 6.2	
114 解熱鎮痛消炎剤	62	64	64	67	64	68	67	2.8	▲ 0.0	5.1	▲ 3.7	6.3	▲ 2.0	
116 抗パーキンソン剤	145	147	144	148	151	159	161	1.1	▲ 1.8	3.0	1.8	5.3	0.9	
117 精神神経用剤	78	84	83	87	90	97	99	7.4	▲ 1.1	4.9	3.4	8.5	1.2	
119 その他中枢神経系用薬	423	430	429	448	449	415	325	1.7	▲ 0.2	4.3	0.2	▲ 7.5	▲ 21.8	
21 循環器官用薬	90	92	87	88	82	83	76	1.8	▲ 5.7	2.0	▲ 7.6	2.0	▲ 8.4	
212 不整脈用剤	120	119	111	110	98	96	83	▲ 0.2	▲ 7.0	▲ 1.1	▲ 10.7	▲ 2.6	▲ 13.1	
214 血圧降下剤	119	121	113	115	107	109	100	2.4	▲ 7.1	1.6	▲ 6.8	1.6	▲ 7.8	
217 血管拡張剤	67	67	62	61	52	51	44	0.4	▲ 7.6	▲ 1.4	▲ 15.4	▲ 1.8	▲ 13.9	
218 高脂血症用剤	112	110	103	104	95	95	84	▲ 1.5	▲ 6.3	0.9	▲ 8.9	▲ 0.1	▲ 11.7	
22 呼吸器官用薬	38	38	36	36	33	33	30	▲ 1.1	▲ 5.2	0.5	▲ 9.3	0.4	▲ 8.7	
23 消化器官用薬	53	54	53	54	50	52	47	3.3	▲ 3.1	3.6	▲ 7.9	2.6	▲ 8.6	
232 消化性潰瘍用剤	71	73	71	73	66	68	61	3.7	▲ 3.4	3.4	▲ 9.4	2.3	▲ 10.7	
239 その他の消化器官用薬	85	87	85	89	87	92	89	2.2	▲ 1.5	4.8	▲ 2.2	5.2	▲ 3.3	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	145	151	147	150	140	141	133	4.2	▲ 2.7	1.9	▲ 6.2	0.5	▲ 5.7	
31 ビタミン剤	51	50	46	45	40	40	40	▲ 1.6	▲ 8.1	▲ 1.4	▲ 10.9	▲ 0.5	0.0	
32 滋養強壮薬	112	116	114	118	112	110	105	2.9	▲ 1.0	2.8	▲ 4.9	▲ 1.5	▲ 4.7	
325 蛋白アミノ酸製剤	687	678	640	629	580	581	529	▲ 1.3	▲ 5.6	▲ 1.7	▲ 7.8	0.2	▲ 8.8	
33 血液・体液用薬	85	90	90	95	91	97	97	5.6	0.3	5.5	▲ 4.4	6.6	▲ 0.7	
39 その他の代謝性医薬品	108	113	112	115	110	118	117	5.3	▲ 0.9	2.8	▲ 4.8	7.1	▲ 0.8	
396 糖尿病用剤	84	86	82	83	80	90	91	2.2	▲ 4.6	0.5	▲ 3.5	13.0	1.5	
399 他に分類されない代謝性医薬品	233	262	295	322	313	331	336	12.2	12.8	9.0	▲ 2.7	5.6	1.5	
42 腫瘍用薬	1,221	1,262	1,266	1,300	1,258	1,274	1,259	3.4	0.3	2.7	▲ 3.2	1.2	▲ 1.2	
422 代謝拮抗剤	1,469	1,564	1,598	1,651	1,688	1,741	1,753	6.5	2.2	3.3	2.2	3.2	0.7	
429 その他の腫瘍用薬	1,122	1,144	1,147	1,186	1,136	1,156	1,143	1.9	0.3	3.4	▲ 4.2	1.8	▲ 1.1	
44 アレルギー用薬	124	128	125	129	120	123	113	3.6	▲ 2.8	3.5	▲ 7.1	2.5	▲ 8.5	
52 漢方製剤	104	102	97	95	90	89	86	▲ 1.9	▲ 5.4	▲ 1.8	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 4.1	
61 抗生物質製剤	210	210	199	202	187	187	169	▲ 0.3	▲ 5.2	1.6	▲ 7.4	0.2	▲ 9.4	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	223	223	215	215	198	199	182	0.1	▲ 3.8	0.4	▲ 8.0	0.4	▲ 8.2	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	212	207	189	193	178	178	157	▲ 2.4	▲ 8.5	2.0	▲ 7.6	0.1	▲ 11.9	
62 化学療法剤	529	531	518	531	511	510	482	0.3	▲ 2.5	2.6	▲ 3.8	▲ 0.2	▲ 5.6	
624 合成抗菌剤	470	481	470	480	445	458	433	2.3	▲ 2.3	2.2	▲ 7.4	3.0	▲ 5.6	
625 抗ウイルス剤	1,232	1,320	1,252	1,139	1,280	1,234	1,223	7.1	▲ 5.2	▲ 9.0	12.4	▲ 3.6	▲ 0.9	

注) 表示していない項目(薬効)がある。

## 9-1. 薬効分類別の状況(6) (後発医薬品処方せん1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が147円と最も高く、次いで消化器官用薬が111円となっている。伸び率は、中枢神経用薬が+83.5%で最も高く、ビタミン剤が▲11.4%で最も低い。

表9-1 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)							対前年度比(%)					
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度
<b>内服薬 総数</b>	220	249	294	354	414	477	564	13.1	18.1	20.5	16.9	15.2	18.0
11 中枢神経系用薬	12	14	18	21	23	30	54	17.6	26.4	14.0	13.6	26.7	83.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	3	3	4	5	5	6	9	21.1	29.3	12.1	14.3	11.1	54.9
114 解熱鎮痛消炎剤	4	4	5	5	6	7	8	10.7	18.1	12.5	16.8	12.0	15.5
116 抗パーキンソン剤	1	2	2	2	2	2	2	12.4	12.7	7.5	2.7	6.1	4.8
117 精神神経用剤	2	3	5	6	7	8	13	35.7	53.8	24.5	18.7	20.6	59.5
119 その他中枢神経系用薬	0	0	0	0	0	3	19	10.6	14.1	9.9	14.5	1292.9	441.5
21 循環器官用薬	41	47	65	88	105	120	147	15.2	38.4	35.5	19.8	14.1	22.1
212 不整脈用剤	3	4	4	5	5	7	8	14.1	17.5	13.8	15.4	22.7	14.5
214 血圧降下剤	7	8	9	11	13	15	20	18.5	18.6	20.0	17.2	12.3	33.7
217 血管拡張剤	6	7	20	37	50	56	60	26.3	179.5	81.5	33.6	13.9	7.1
218 高脂血症用剤	17	19	21	23	23	28	45	10.9	8.9	10.4	3.0	19.8	60.2
22 呼吸器官用薬	11	10	11	10	9	10	12	▲6.3	2.3	▲0.7	▲15.0	10.5	20.7
23 消化器官用薬	36	41	49	59	76	95	111	15.4	17.7	20.9	28.2	25.7	17.3
232 消化性潰瘍用剤	18	22	27	34	49	65	79	18.9	23.1	28.3	42.5	34.5	20.0
239 その他の消化器官用薬	1	1	1	1	2	2	3	0.3	22.1	36.1	32.1	18.7	50.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	6	6	6	7	9	10	11	3.2	▲6.0	20.7	21.7	12.1	9.7
31 ビタミン剤	46	48	47	49	46	46	41	4.3	▲1.0	3.2	▲6.7	0.6	▲11.4
32 滋養強壮薬	1	1	2	2	2	3	3	3.4	23.6	13.3	18.1	11.4	6.5
325 蛋白アミノ酸製剤	1	1	1	1	1	1	1	▲3.8	25.0	16.0	12.3	12.7	0.2
33 血液・体液用薬	17	20	23	27	34	39	43	15.3	19.5	17.3	25.3	13.5	11.4
39 その他の代謝性医薬品	22	27	33	38	42	49	55	19.6	23.4	16.3	11.2	14.8	12.0
396 糖尿病用剤	8	10	14	17	20	23	26	31.3	37.0	22.0	16.2	19.9	11.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	5	7	8	10	11	13	16	28.5	25.1	20.8	11.2	20.7	24.3
42 腫瘍用薬	3	3	3	10	15	18	20	5.4	14.7	191.5	50.7	23.0	10.2
422 代謝拮抗剤	0	0	0	0	0	0	0	▲23.3	▲34.2	▲55.0	▲35.4	▲26.6	▲24.4
429 その他の腫瘍用薬	3	3	3	10	15	18	20	5.9	14.9	203.5	51.5	23.1	10.3
44 アレルギー用薬	9	12	16	19	24	27	34	36.0	32.6	18.8	29.2	13.7	24.7
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	4	6	7	8	11	13	15	58.8	15.4	10.0	33.6	14.5	20.0
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	1	1	2	2	3	4	5	25.5	11.1	27.6	65.0	16.2	38.7
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	2	4	5	5	7	8	9	87.4	16.5	4.6	24.6	13.4	12.6
62 化学療法剤	9	9	10	12	13	14	13	9.0	7.3	19.7	9.3	4.8	▲9.2
624 合成抗菌剤	0	1	0	2	4	4	4	26.8	▲20.4	361.7	61.9	11.2	▲15.2
625 抗ウイルス剤	3	3	2	2	2	2	1	▲16.6	▲15.2	▲12.7	▲1.3	▲7.3	▲24.4

注) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

## 9-2. 薬効分類別の状況(6)(後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、ビタミン剤の41.6%が最も高く、次いで消化器官用薬の23.0%となっている。

対前年度差は、消化器官用薬が+4.6%で最も高く、ビタミン剤が▲4.5%で最も低い。

表9-2 内服薬 後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)							対前年度差(%)						
	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	
内服薬 総数	5.2	5.5	6.3	7.0	8.4	9.0	10.9	0.3	0.8	0.7	1.4	0.6	1.8	
11 中枢神経系用薬	2.4	2.6	3.0	3.1	3.4	3.7	6.7	0.1	0.5	0.1	0.3	0.3	2.9	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	3.6	4.1	5.0	5.2	6.2	6.7	11.0	0.5	0.8	0.3	1.0	0.5	4.3	
114 解熱鎮痛消炎剤	4.9	5.1	5.8	6.0	7.2	7.4	8.3	0.2	0.7	0.2	1.2	0.1	1.0	
116 抗パーキンソン剤	2.3	2.5	2.8	2.9	2.9	2.9	3.0	0.2	0.3	0.1	0.1	▲0.0	0.1	
117 精神神経用剤	1.2	1.5	2.1	2.4	2.8	3.0	4.7	0.2	0.7	0.3	0.4	0.2	1.7	
119 その他中枢神経系用薬	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1.6	8.2	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	1.4	6.6	
21 循環器官用薬	3.2	3.4	4.7	5.9	7.5	8.2	10.6	0.2	1.3	1.1	1.6	0.7	2.4	
212 不整脈用剤	3.7	4.1	5.0	5.6	7.1	8.7	10.9	0.4	0.9	0.6	1.6	1.5	2.3	
214 血圧降下剤	1.2	1.3	1.5	1.6	2.0	2.1	3.0	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.9	
217 血管拡張剤	2.1	2.6	7.4	13.2	21.0	24.9	30.9	0.5	4.9	5.7	7.8	3.9	6.0	
218 高脂血症用剤	6.3	6.4	6.7	6.5	6.9	7.8	13.4	0.2	0.2	▲0.2	0.4	0.9	5.6	
22 呼吸器官用薬	13.4	13.2	14.2	14.4	12.8	14.0	18.5	▲0.3	1.1	0.1	▲1.5	1.2	4.5	
23 消化器官用薬	7.9	8.5	9.9	11.1	15.4	18.4	23.0	0.6	1.4	1.2	4.3	3.0	4.6	
232 消化性潰瘍用剤	5.3	5.9	7.3	8.7	13.5	17.3	22.7	0.6	1.3	1.4	4.9	3.8	5.5	
239 その他の消化器官用薬	1.3	1.2	1.4	1.8	2.4	2.6	3.9	▲0.1	0.2	0.3	0.6	0.2	1.3	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	5.4	4.9	4.4	4.8	6.0	6.4	7.1	▲0.5	▲0.6	0.4	1.3	0.4	0.7	
31 ビタミン剤	42.6	43.4	44.6	45.0	46.5	46.2	41.6	0.7	1.2	0.4	1.5	▲0.4	▲4.5	
32 滋養強壮薬	2.3	2.2	2.7	2.8	3.5	3.9	4.4	▲0.1	0.5	0.1	0.7	0.4	0.5	
325 蛋白アミノ酸製剤	1.7	1.5	1.8	1.9	2.3	2.6	2.7	▲0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
33 血液・体液用薬	7.4	7.5	8.3	8.7	11.1	11.4	12.4	0.1	0.8	0.4	2.4	0.3	1.0	
39 その他の代謝性医薬品	5.3	5.7	6.7	7.1	8.0	8.1	8.7	0.4	1.0	0.4	0.9	0.2	0.5	
396 糖尿病用剤	4.8	5.6	7.4	8.2	9.3	9.0	9.1	0.8	1.7	0.8	1.1	▲0.3	0.1	
399 他に分類されない代謝性医薬品	2.8	3.2	3.7	4.0	4.4	4.9	6.1	0.3	0.5	0.3	0.5	0.5	1.1	
42 腫瘍用薬	1.3	1.3	1.4	3.8	5.8	6.9	7.6	▲0.0	0.1	2.4	2.0	1.1	0.7	
422 代謝拮抗剤	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	
429 その他の腫瘍用薬	2.0	1.9	2.0	5.4	8.2	9.4	10.2	▲0.1	0.1	3.4	2.8	1.2	0.8	
44 アレルギー用薬	2.9	3.6	4.6	5.2	6.7	7.3	9.5	0.7	0.9	0.7	1.5	0.6	2.2	
52 漢方製剤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
61 抗生物質製剤	2.5	4.1	5.0	5.6	7.8	9.0	12.1	1.6	0.9	0.6	2.2	1.2	3.1	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	1.4	1.9	2.2	3.0	5.1	6.1	9.4	0.4	0.3	0.8	2.2	1.0	3.3	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	3.3	6.4	8.0	8.2	10.5	11.9	15.6	3.1	1.6	0.2	2.4	1.3	3.7	
62 化学療法剤	4.9	5.5	5.6	6.2	7.3	7.5	7.0	0.5	0.1	0.7	1.1	0.1	▲0.4	
624 合成抗菌剤	1.0	1.2	1.0	4.5	7.2	7.3	6.2	0.2	▲0.2	3.5	2.8	0.1	▲1.1	
625 抗ウイルス剤	4.5	3.7	2.7	2.0	2.1	1.9	1.5	▲0.7	▲1.0	▲0.7	0.1	▲0.2	▲0.4	

注)表示していない項目(薬効)がある。

## 10. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

平成24年度後発医薬品割合は数量ベースで28.7%(伸び幅+5.2%)、薬剤料ベースで10.2%(+1.5%)、後発医薬品調剤率は52.6%(+4.1%)であった。

なお、それぞれの最高値は、数量ベースが2月の29.5%、薬剤料ベースが3月の10.8%、後発医薬品調剤率は1月の54.9%であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数をみると、平成24年3月において、数量ベースで後発医薬品割合が20%未満の薬局数は26.3%で、20%以上の薬局数は73.8%となっている。

表10-1 後発医薬品割合

(単位:%)

	実数								対前年度差					
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	(平成24年度最高値)	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
後発医薬品割合(数量ベース)	15.4	16.1	18.0	18.9	22.4	23.4	28.7	29.5	0.7	1.9	0.9	3.4	1.0	5.2
後発医薬品割合(薬剤料ベース)	5.4	5.6	6.4	6.9	8.2	8.7	10.2	10.8	0.2	0.7	0.6	1.3	0.5	1.5
後発医薬品調剤率	39.4	40.1	43.1	44.0	47.7	48.6	52.6	54.9	0.7	3.0	1.0	3.8	0.9	4.1

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方せん受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方せん受付回数の割合をいう。

注3) 平成22年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外している。

注4) 平成24年4月以降は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出から、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

表10-2 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	平成23年度		平成24年度											
	4月	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
10%未満	7.9	7.0	3.9	3.6	3.4	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	2.7	2.9	3.1
10%以上 20%未満	34.4	33.4	24.2	22.9	21.9	21.3	20.9	20.4	20.0	19.7	19.4	19.0	18.6	18.6
20%以上 25%未満	18.8	18.8	15.3	14.8	14.6	14.5	14.5	14.2	14.0	13.9	13.9	13.6	13.5	13.4
25%以上 30%未満	15.4	15.6	15.4	15.2	15.3	15.2	15.3	15.5	15.2	15.1	14.9	15.0	14.8	14.8
30%以上 40%未満	17.9	19.2	29.0	30.1	31.1	31.6	32.2	32.2	32.3	32.7	32.8	33.3	33.5	33.9
40%以上 50%未満	4.1	4.4	9.4	10.4	10.7	11.1	11.0	11.5	12.0	12.2	12.6	12.9	13.1	12.6
50%以上 60%未満	1.2	1.2	2.1	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.6	2.6	2.7	2.6	2.8	2.8
60%以上 70%未満	0.3	0.3	0.5	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6
70%以上 80%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
80%以上 90%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
90%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20%未満	42.3	40.4	33.4	31.8	30.3	29.5	29.0	28.3	28.0	27.6	27.2	26.5	26.2	26.3
20%以上 25%未満	18.8	18.8	25.3	24.7	24.8	24.6	24.6	24.7	24.2	24.1	24.0	23.8	23.5	23.6
25%以上 30%未満	15.4	15.6	15.4	15.7	16.1	16.2	16.3	16.2	16.2	16.4	16.4	16.4	16.4	17.0
30%以上	23.6	25.2	25.9	27.8	28.8	29.6	30.1	30.7	31.7	31.9	32.5	33.3	33.8	33.2

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 平成23年度は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出からは、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤を除外している。

注3) 平成24年度は、後発医薬品割合(数量ベース)の算出からは、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

表10-3 除外品目<sup>※</sup>を含む後発医薬品割合(数量ベース)

(単位:%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度(4月~3月)	21.2	21.5	21.7	21.4	21.5	21.6	21.9	22.0	22.1	22.2	22.1	21.8
平成23年度(4月~3月)	22.3	22.5	22.5	22.4	22.5	22.6	22.8	22.8	23.0	23.3	23.5	23.4
平成24年度(4月~3月)	24.7	25.1	25.3	25.5	25.6	25.8	26.0	26.1	26.2	26.5	26.6	26.5

※) 平成22年4月以降は、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤。

平成24年4月以降は、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤。

## 11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い石川県では、技術料の割合が22.1%、薬剤料の割合が77.7%となっている。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が30.0%、薬剤料の割合が69.9%となっている。

薬剤料では、全国の伸び率が+0.4%(最高:宮城県+4.8%、最低:秋田県▲2.9%)であるのに対し、後発医薬品では全国が+18.0%(最高:福井県+27.6%、最低:沖縄県+8.4%)と、伸び率が異なり、全都道府県において、薬剤料全体の伸び率に比べて、後発医薬品の伸び率が高かった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

平成24年度

	総額 (単位:億円)								処方せん1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料料		
全国	65,902	17,020	25.8	48,771	4,958	74.0	112	0.2	8,400	2,169	6,217	632	14
北海道	3,448	796	23.1	2,647	292	76.8	5	0.1	9,960	2,299	7,647	843	14
青森	852	220	25.9	629	72	73.9	2	0.3	8,526	2,206	6,299	725	21
岩手	781	190	24.3	590	78	75.5	1	0.2	9,207	2,238	6,955	917	15
宮城	1,347	347	25.8	997	105	74.1	2	0.2	8,285	2,137	6,136	648	12
秋田	792	181	22.8	610	53	77.0	2	0.2	9,847	2,247	7,580	661	19
山形	638	167	26.1	469	59	73.5	2	0.3	8,487	2,219	6,240	781	28
福島	1,164	289	24.8	874	88	75.0	2	0.1	9,124	2,264	6,846	686	14
茨城	1,485	360	24.2	1,123	112	75.6	2	0.1	9,191	2,226	6,952	690	12
栃木	880	230	26.1	649	69	73.8	1	0.2	8,223	2,145	6,065	648	13
群馬	827	206	24.9	619	68	74.9	1	0.2	8,630	2,153	6,462	705	15
埼玉	3,274	844	25.8	2,425	259	74.1	5	0.1	8,263	2,131	6,120	655	12
千葉	2,911	737	25.3	2,168	227	74.5	5	0.2	8,402	2,128	6,258	655	16
東京	7,840	2,004	25.6	5,824	512	74.3	12	0.2	8,187	2,093	6,081	535	13
神奈川	4,821	1,254	26.0	3,560	350	73.8	7	0.2	7,986	2,077	5,896	580	12
新潟	1,322	339	25.6	981	110	74.2	2	0.1	8,658	2,220	6,426	717	12
富山	443	108	24.3	334	38	75.4	1	0.2	9,353	2,275	7,057	800	22
石川	560	124	22.1	435	43	77.7	1	0.2	10,778	2,384	8,374	820	20
福井	283	64	22.5	219	23	77.2	1	0.3	10,318	2,320	7,965	850	33
山梨	474	112	23.7	360	32	76.1	1	0.2	9,125	2,164	6,940	622	20
長野	1,072	264	24.6	807	98	75.2	2	0.2	9,523	2,342	7,164	867	18
岐阜	1,006	265	26.4	739	76	73.5	1	0.1	8,332	2,195	6,124	629	12
静岡	1,895	495	26.1	1,397	147	73.7	3	0.2	8,225	2,148	6,062	639	14
愛知	3,186	847	26.6	2,334	229	73.3	5	0.1	8,003	2,128	5,864	575	12
三重	790	210	26.5	579	61	73.3	1	0.2	8,161	2,165	5,983	629	13
滋賀	628	154	24.5	472	44	75.2	2	0.3	8,866	2,168	6,669	624	29
京都	1,165	264	22.6	897	77	77.1	4	0.3	10,085	2,283	7,771	670	31
大阪	4,377	1,104	25.2	3,264	293	74.6	9	0.2	8,747	2,206	6,523	586	18
兵庫	2,891	779	26.9	2,109	206	72.9	4	0.1	8,072	2,173	5,886	574	12
奈良	547	149	27.3	397	48	72.5	1	0.1	8,191	2,240	5,942	716	9
和歌山	400	101	25.2	299	28	74.6	1	0.1	8,664	2,185	6,467	599	12
鳥取	317	83	26.1	233	23	73.7	1	0.2	8,738	2,279	6,440	642	18
島根	405	109	27.0	295	35	72.8	1	0.2	8,676	2,340	6,318	748	18
岡山	877	243	27.8	632	69	72.1	1	0.1	7,910	2,195	5,704	621	11
広島	1,671	457	27.4	1,211	114	72.5	3	0.2	7,904	2,164	5,728	538	12
山口	845	231	27.3	613	65	72.5	1	0.1	8,016	2,191	5,813	619	11
徳島	353	89	25.3	263	20	74.5	1	0.2	8,667	2,190	6,459	501	18
香川	552	140	25.4	410	37	74.3	2	0.3	8,682	2,204	6,449	582	29
愛媛	618	160	25.9	457	42	74.0	1	0.2	8,394	2,171	6,208	570	15
高知	447	105	23.4	342	32	76.4	1	0.1	9,846	2,306	7,526	707	14
福岡	2,691	793	29.5	1,895	197	70.4	4	0.1	7,208	2,123	5,075	527	10
佐賀	508	152	30.0	355	36	69.9	0	0.1	7,099	2,129	4,962	498	7
長崎	839	229	27.3	609	65	72.6	1	0.2	8,058	2,198	5,846	627	14
熊本	903	256	28.3	645	77	71.4	2	0.2	7,570	2,146	5,408	643	16
大分	674	178	26.4	496	54	73.6	1	0.1	8,450	2,227	6,216	678	6
宮崎	627	175	27.9	451	52	72.0	1	0.1	7,741	2,157	5,575	637	9
鹿児島	873	255	29.2	617	84	70.7	1	0.1	7,586	2,217	5,360	734	9
沖縄	602	162	27.0	438	60	72.8	2	0.3	8,127	2,191	5,914	811	22

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳 (対前年度比)

	総額								処方せん1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険 医療材料料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険 医療材料料		
全国	1.2	3.6	0.6	0.4	18.0	▲ 0.6	3.3	0.0	▲ 0.3	2.0	▲ 1.1	16.2	1.8
北海道	0.1	1.4	0.3	▲ 0.3	12.9	▲ 0.3	3.6	0.0	0.6	1.9	0.3	13.6	4.2
青森	▲ 0.5	1.3	0.5	▲ 1.1	12.7	▲ 0.4	▲ 5.8	▲ 0.0	0.9	2.7	0.3	14.3	▲ 4.4
岩手	2.1	4.4	0.5	1.3	17.7	▲ 0.6	31.7	0.0	0.6	2.9	▲ 0.1	16.0	29.8
宮城	5.2	6.3	0.3	4.8	18.9	▲ 0.3	14.6	0.0	0.5	1.5	0.1	13.5	9.4
秋田	▲ 2.6	▲ 1.5	0.2	▲ 2.9	19.2	▲ 0.3	5.0	0.0	▲ 0.1	1.0	▲ 0.5	22.2	7.7
山形	1.1	3.8	0.7	0.1	22.0	▲ 0.7	1.4	0.0	▲ 0.5	2.2	▲ 1.4	20.1	▲ 0.2
福島	3.5	5.2	0.4	2.9	19.0	▲ 0.4	25.4	0.0	▲ 0.7	1.0	▲ 1.2	14.2	20.4
茨城	1.1	2.7	0.4	0.6	15.1	▲ 0.4	4.6	0.0	▲ 0.3	1.4	▲ 0.8	13.6	3.3
栃木	1.5	4.0	0.6	0.6	18.9	▲ 0.7	9.8	0.0	▲ 0.9	1.6	▲ 1.8	16.1	7.2
群馬	3.6	6.2	0.6	2.8	23.6	▲ 0.6	6.4	0.0	0.2	2.7	▲ 0.6	19.5	2.9
埼玉	1.9	4.4	0.6	1.0	17.3	▲ 0.6	2.0	0.0	▲ 0.8	1.6	▲ 1.7	14.2	▲ 0.7
千葉	2.5	4.5	0.5	1.8	22.7	▲ 0.5	16.5	0.0	0.0	2.0	▲ 0.7	19.8	13.7
東京	0.7	3.8	0.8	▲ 0.3	19.2	▲ 0.8	▲ 2.2	▲ 0.0	▲ 0.8	2.2	▲ 1.8	17.4	▲ 3.6
神奈川	0.9	3.6	0.7	0.0	20.9	▲ 0.7	▲ 2.7	▲ 0.0	▲ 0.8	1.8	▲ 1.6	18.9	▲ 2.3
新潟	▲ 1.1	0.2	0.4	▲ 1.6	12.0	▲ 0.4	20.1	0.0	▲ 0.6	0.7	▲ 1.1	12.6	20.7
富山	2.4	4.3	0.4	1.9	15.5	▲ 0.4	0.1	▲ 0.0	▲ 0.9	0.9	▲ 1.5	11.7	▲ 3.2
石川	1.4	5.2	0.8	0.3	16.4	▲ 0.8	4.8	0.0	▲ 1.0	2.7	▲ 2.0	13.6	2.3
福井	3.1	7.8	1.0	1.9	27.6	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.0	▲ 2.4	2.0	▲ 3.6	20.8	▲ 6.2
山梨	1.1	4.0	0.7	0.2	18.7	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 0.0	▲ 0.5	2.3	▲ 1.4	16.7	▲ 5.4
長野	1.2	4.9	0.8	0.1	20.8	▲ 0.9	10.7	0.0	▲ 0.7	2.9	▲ 1.8	18.5	8.6
岐阜	1.0	3.3	0.6	0.2	21.1	▲ 0.6	▲ 2.8	▲ 0.0	▲ 1.0	1.3	▲ 1.7	18.7	▲ 4.6
静岡	2.8	5.1	0.6	2.0	19.1	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.0	▲ 0.5	1.7	▲ 1.3	15.3	▲ 3.5
愛知	2.1	4.6	0.6	1.3	20.3	▲ 0.6	▲ 3.6	▲ 0.0	▲ 0.5	1.9	▲ 1.4	17.1	▲ 6.2
三重	1.4	4.1	0.7	0.5	20.0	▲ 0.7	3.8	0.0	▲ 0.6	2.0	▲ 1.5	17.6	1.7
滋賀	3.0	6.2	0.7	2.0	22.9	▲ 0.7	3.3	0.0	0.8	3.9	▲ 0.2	20.2	1.0
京都	1.8	4.2	0.5	1.1	16.0	▲ 0.5	0.2	▲ 0.0	▲ 1.3	1.1	▲ 1.9	12.5	▲ 2.9
大阪	1.4	4.0	0.6	0.6	17.2	▲ 0.6	0.8	▲ 0.0	▲ 0.8	1.8	▲ 1.6	14.7	▲ 1.4
兵庫	1.3	3.9	0.7	0.3	15.7	▲ 0.7	5.8	0.0	0.2	2.8	▲ 0.7	14.5	4.7
奈良	0.4	2.8	0.6	▲ 0.5	23.6	▲ 0.6	7.2	0.0	▲ 1.7	0.6	▲ 2.6	21.0	5.0
和歌山	1.8	5.4	0.9	0.7	18.8	▲ 0.9	4.7	0.0	▲ 0.4	3.1	▲ 1.5	16.3	2.4
鳥取	0.8	4.5	0.9	▲ 0.4	25.0	▲ 0.9	▲ 2.1	▲ 0.0	▲ 1.8	1.9	▲ 3.0	21.8	▲ 4.5
根拠	1.6	4.3	0.7	0.7	18.0	▲ 0.7	▲ 2.6	▲ 0.0	▲ 0.3	2.3	▲ 1.2	15.8	▲ 4.4
岡山	1.8	3.7	0.5	1.0	19.8	▲ 0.5	7.9	0.0	0.9	2.8	0.2	18.8	7.0
広島	0.5	2.3	0.5	▲ 0.2	15.7	▲ 0.5	10.6	0.0	0.3	2.1	▲ 0.4	15.5	10.3
山口	▲ 0.2	0.9	0.3	▲ 0.7	16.2	▲ 0.3	4.2	0.0	0.0	1.2	▲ 0.4	16.5	4.4
徳島	2.1	5.8	0.9	0.9	22.0	▲ 0.9	5.2	0.0	▲ 2.1	1.5	▲ 3.2	17.0	1.0
香川	0.3	2.1	0.5	▲ 0.3	20.1	▲ 0.4	▲ 5.9	▲ 0.0	▲ 0.1	1.8	▲ 0.7	19.7	▲ 6.2
愛媛	1.3	4.5	0.8	0.2	21.5	▲ 0.8	4.2	0.0	▲ 1.4	1.8	▲ 2.4	18.3	1.4
高知	0.3	3.2	0.7	▲ 0.6	16.9	▲ 0.7	8.9	0.0	▲ 0.1	2.8	▲ 1.0	16.4	8.4
福岡	▲ 0.3	1.3	0.4	▲ 0.9	15.0	▲ 0.5	1.4	0.0	0.4	2.0	▲ 0.2	15.8	2.1
佐賀	▲ 0.0	2.0	0.6	▲ 0.9	14.5	▲ 0.6	12.1	0.0	0.8	2.8	▲ 0.1	15.4	13.0
長崎	▲ 0.2	3.5	1.0	▲ 1.6	16.4	▲ 1.0	▲ 2.3	▲ 0.0	0.2	3.9	▲ 1.1	16.9	▲ 1.8
熊本	0.2	3.3	0.9	▲ 1.0	15.8	▲ 0.9	6.2	0.0	0.1	3.3	▲ 1.1	15.8	6.2
大分	0.2	3.6	0.9	▲ 1.0	17.6	▲ 0.9	8.0	0.0	▲ 0.3	3.1	▲ 1.4	17.1	7.5
宮崎	▲ 0.1	2.5	0.7	▲ 1.0	20.0	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 0.0	▲ 0.6	1.9	▲ 1.6	19.3	▲ 2.2
鹿児島	1.2	2.8	0.4	0.5	17.4	▲ 0.5	19.5	0.0	0.2	1.8	▲ 0.4	16.2	18.4
沖縄	2.1	4.2	0.5	1.3	8.4	▲ 0.6	13.3	0.0	2.4	4.5	1.6	8.6	13.6

※ 構成割合は対前年度差。

## 12. 都道府県別の状況(3)(処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、石川県が7,174円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.25、24.8日、89円となっている。一方、佐賀県が4,156円と最も低く、3要素に分解すると、2.94、17.1日、83円となっており、1種類当たり投薬日数が最も低くなっている。

表12 都道府県別 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解 平成24年度

	実 額				対前年度比 (単位: %)			
	処方せん1枚当たり薬剤料 (円)				処方せん1枚当たり薬剤料			
	処方せん1枚当 たり薬剤種類数	1種類当 たり投薬日数(日)	1種類1日当 たり薬剤料(円)		処方せん1枚当 たり薬剤種類数	1種類当 たり投薬日数	1種類1日当 たり薬剤料	
全 国	5,180	2.90	21.1	85	▲ 1.9	▲ 0.2	3.1	▲ 4.7
北海道	6,415	3.21	24.6	81	▲ 0.3	0.3	3.8	▲ 4.3
青 森	5,288	2.98	21.8	81	▲ 0.5	0.1	4.2	▲ 4.6
岩 手	5,925	2.92	25.1	81	▲ 0.9	0.2	4.3	▲ 5.2
宮 城	5,084	2.87	21.7	82	▲ 1.2	▲ 0.9	3.6	▲ 3.7
秋 田	6,429	3.17	24.9	81	▲ 1.4	▲ 0.5	4.2	▲ 4.9
山 形	5,225	2.81	23.0	81	▲ 1.9	▲ 0.2	3.4	▲ 5.0
福 島	5,816	3.08	22.7	83	▲ 2.0	▲ 0.6	3.4	▲ 4.6
茨 城	5,891	2.96	23.2	86	▲ 1.7	▲ 0.3	3.0	▲ 4.3
栃 木	5,153	2.92	20.9	84	▲ 2.7	▲ 0.9	3.3	▲ 4.9
群 馬	5,427	2.93	21.5	86	▲ 1.6	▲ 0.2	3.2	▲ 4.5
埼 玉	5,092	2.81	21.5	84	▲ 2.6	▲ 0.3	2.9	▲ 5.0
千 葉	5,215	2.75	22.4	85	▲ 1.6	0.1	3.2	▲ 4.7
東 京	5,039	2.78	20.7	88	▲ 2.8	▲ 0.5	2.4	▲ 4.6
神奈川	4,888	2.67	21.2	86	▲ 2.6	0.0	2.6	▲ 5.1
新 潟	5,394	2.75	24.0	82	▲ 2.1	▲ 0.4	3.1	▲ 4.6
富 山	5,969	2.88	24.7	84	▲ 2.5	▲ 1.2	3.2	▲ 4.3
石 川	7,174	3.25	24.8	89	▲ 2.4	▲ 0.2	2.8	▲ 4.9
福 井	6,767	3.17	24.5	87	▲ 4.3	▲ 0.9	2.2	▲ 5.5
山 梨	5,856	2.84	23.8	87	▲ 2.0	▲ 0.5	3.0	▲ 4.4
長 野	6,023	2.91	25.3	82	▲ 2.8	0.1	2.6	▲ 5.4
岐 阜	5,105	2.99	19.9	86	▲ 2.6	▲ 0.4	3.3	▲ 5.2
静 岡	5,018	2.76	21.4	85	▲ 2.5	▲ 0.1	2.6	▲ 4.9
愛 知	4,846	2.83	19.6	87	▲ 2.4	▲ 0.3	3.2	▲ 5.1
三 重	5,025	2.86	20.8	85	▲ 2.4	▲ 0.2	3.1	▲ 5.1
滋 賀	5,528	2.83	22.4	87	▲ 1.2	▲ 0.3	4.3	▲ 5.0
京 都	6,457	3.04	23.3	91	▲ 3.0	▲ 0.3	1.7	▲ 4.3
阪 神	5,387	3.05	19.8	89	▲ 1.9	▲ 0.1	2.5	▲ 4.1
大 阪	4,843	2.82	20.1	85	▲ 1.5	▲ 0.2	3.4	▲ 4.6
兵 庫	4,927	2.80	21.8	81	▲ 3.4	▲ 0.5	3.2	▲ 6.0
奈 良	5,360	2.98	21.4	84	▲ 2.3	0.0	2.7	▲ 4.9
和 歌 山	5,440	2.98	21.4	85	▲ 3.8	0.1	1.8	▲ 5.6
鳥 取	5,422	3.13	21.7	80	▲ 2.1	▲ 0.1	2.9	▲ 4.8
島 根	4,820	3.01	19.5	82	▲ 0.8	0.2	3.9	▲ 4.7
岡 山	4,768	2.97	18.2	88	▲ 1.2	▲ 0.2	3.6	▲ 4.4
広 島	4,860	2.83	20.1	86	▲ 1.4	0.2	3.3	▲ 4.8
山 口	5,499	3.08	19.9	90	▲ 4.0	0.2	1.4	▲ 5.5
徳 島	5,374	2.93	20.3	91	▲ 1.3	0.4	2.9	▲ 4.4
香 川	5,153	2.84	21.1	86	▲ 3.3	▲ 0.3	2.6	▲ 5.4
愛 媛	6,442	3.18	23.3	87	▲ 1.5	▲ 0.1	3.2	▲ 4.5
高 知	4,214	2.96	17.5	82	▲ 0.8	▲ 0.4	4.0	▲ 4.3
福 岡	4,156	2.94	17.1	83	▲ 1.1	▲ 0.1	4.0	▲ 4.8
佐 賀	4,863	3.06	19.8	80	▲ 1.9	0.1	3.6	▲ 5.4
長 崎	4,486	3.13	18.3	78	▲ 1.6	0.5	3.4	▲ 5.4
熊 本	5,248	3.18	19.9	83	▲ 2.1	0.4	2.9	▲ 5.2
大 分	4,574	2.92	19.8	79	▲ 2.1	0.8	3.2	▲ 5.9
宮 崎	4,446	2.95	19.5	77	▲ 1.5	0.4	3.6	▲ 5.4
鹿 児 島	4,766	2.76	22.1	78	1.0	0.2	4.0	▲ 3.1
沖 縄								



### 13. 都道府県別の状況(4)(後発医薬品割合)

後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース、薬剤料ベースともに沖縄県が最も高く、41.7%、13.7%となっている。一方、数量ベース、薬剤料ベースともに徳島県が最も低く、23.9%、7.8%となっている。

対前年度差をみると、数量ベースでは鹿児島県が+6.7%、薬剤料ベースでは奈良県が+2.4%と最も高かった。一方、数量ベースでは福島県が+4.3%、薬剤料ベースでは沖縄県が+0.9%と最も低かった。

平成24年度  
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

	後発医薬品割合		後発医薬品 調剤率	対前年度差		
	数量ベース	薬剤料ベース		数量ベース	薬剤料ベース	後発医薬品 調剤率
全 国	28.7	10.2	52.6	5.2	1.5	4.1
北海道	29.6	11.0	56.2	4.8	1.3	3.8
青 森	30.8	11.5	57.2	4.8	1.4	3.1
岩 手	32.4	13.2	59.1	5.8	1.8	4.2
宮 城	29.5	10.6	55.2	4.8	1.3	3.5
秋 田	23.9	8.7	49.3	5.0	1.6	4.4
山 形	33.0	12.5	57.5	6.4	2.2	4.4
福 島	27.6	10.0	55.1	4.3	1.4	2.9
茨 城	27.7	9.9	50.8	4.6	1.3	3.8
栃 木	28.8	10.7	53.2	4.9	1.6	3.6
群 馬	30.6	10.9	54.2	5.8	1.8	4.5
埼 玉	29.8	10.7	53.6	5.1	1.5	4.1
千 葉	29.1	10.5	51.9	5.5	1.8	4.7
東 京	25.2	8.8	46.6	5.2	1.4	4.5
神 奈 川	27.9	9.8	48.5	5.6	1.7	4.9
新 潟	29.2	11.2	54.5	4.4	1.4	3.4
富 山	31.9	11.3	57.9	5.2	1.3	3.2
石 川	28.8	9.8	53.0	4.8	1.3	3.7
福 井	30.5	10.7	56.4	5.5	2.2	4.5
山 梨	24.8	9.0	47.0	4.3	1.4	3.1
長 野	30.6	12.1	52.6	6.3	2.1	5.8
岐 阜	28.1	10.3	54.2	5.3	1.8	4.3
静 岡	29.2	10.5	53.2	5.3	1.5	4.3
愛 知	27.8	9.8	53.6	5.3	1.6	4.4
三 重	29.5	10.5	55.0	5.8	1.7	4.5
滋 賀	27.2	9.4	50.8	5.2	1.6	4.2
京 都	27.1	8.6	49.8	4.4	1.1	3.2
大 阪	27.6	9.0	51.3	5.0	1.3	3.7
兵 庫	28.7	9.8	51.6	5.1	1.3	3.4
奈 良	31.2	12.1	53.4	6.3	2.4	5.2
和 歌 山	26.8	9.3	48.8	5.2	1.4	4.0
鳥 取	29.0	10.0	51.5	5.8	2.0	4.7
島 根	31.2	11.8	54.6	5.8	1.7	4.8
山 岡	30.5	10.9	55.2	5.2	1.7	4.0
広 島	27.2	9.4	52.1	4.9	1.3	3.8
山 口	30.2	10.6	55.8	5.5	1.5	4.0
徳 島	23.9	7.8	46.8	4.6	1.3	4.3
香 川	27.4	9.0	52.3	4.9	1.5	4.9
愛 媛	28.0	9.2	53.8	4.9	1.6	3.5
高 知	26.2	9.4	50.5	4.6	1.4	3.5
福 岡	30.0	10.4	56.0	5.6	1.4	3.7
佐 賀	29.1	10.0	54.9	6.0	1.3	3.7
長 崎	29.7	10.7	55.7	5.4	1.7	3.4
熊 本	32.5	11.9	60.1	5.7	1.7	4.1
大 分	29.9	10.9	55.8	5.4	1.7	4.5
宮 崎	31.7	11.4	58.1	6.0	2.0	4.8
鹿 児 島	36.1	13.7	61.7	6.7	2.0	4.1
沖 縄	41.7	13.7	66.3	5.1	0.9	2.6